

科目	社会学	担当	高崎 義幸	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に理解し、相対的なものの見方考え方を身につけることを目指す。

【履修注意】

積極的な授業参加と毎回配布するコメントカードへの記入が求められる。
 欠席回数が5回に達した場合、期末試験の受験資格を喪失し、単位不認定となる。
 必要な知識は下記の参考文献から得ること。参考文献は読んでおくことが前提となる。

【評価方法】

毎回配布するコメントカード(20%)、理解度確認テスト(20%)、期末試験(60%)を総合し評価する。

【試験について】

授業内容に関する筆記試験を実施する。
 再試験は実施しない。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

教科書は使用しない。

【参考書】

『社会学』著者:長谷川公一ほか(2007)出版社:有斐閣
 『グローバル化時代の新しい社会学』著者:西原和久ほか(2007)出版社:新泉社

【その他の注意事項】

授業内容と関係のない行為には厳格に対処する。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	イントロダクション	社会のしくみ、社会学的ものの見方、考え方
2	社会学とはどのような学問か	社会学の対象、類型
3	社会学史	コント、テンニース、ジンメル、デュルケム
4	行為と集団	空間、儀礼的無関心、ゴフマン
5	地位と役割	T.パーソンズ、役割演技
6	家族	家制度、近代家族、家族の変容
7	ジェンダー	性差、男らしさ・女らしさとは
8	中間まとめ	これまでの授業のまとめと理解度確認テスト
9	社会的ジレンマ	意図せざる結果
10	社会的ジレンマ	予言の自己成就
11	環境問題	経済の成長と公害問題
12	国家とグローバリゼーション	グローバリゼーションとナショナリズム
13	国家とグローバリゼーション	国民国家の成立、想像の共同体
14	格差と階層化	近代化と階級・階層
15	格差と階層化	現代における格差と階層化の構造
16	期末試験	期末試験